

# 1583 グランドオーク百寿

## 【キーワード】

〔施設種別〕 ■高齢者施設 □障がい者施設 □子ども施設 □住宅 ( )  
〔運営主体〕 □市区町村 ■法人 □NPO □個人 (補助金) □内閣府 □国土交通省 □厚生労働省  
〔建物形式〕 ■1棟単体型 □複数棟集合型 □団地型 (建物状況) ■新築 □増築 □改修 □一部改修 □既存  
〔対象者〕 ■高齢者 □障がい者 ■子ども □ファミリー ■多世代



写真1. オークカフェ：奥が小さなマーケット

泉北ニュータウンの近隣センターの一角に建つ地域密着型特別養護老人ホームの2階が子どもや住民が自由に行ける地域交流スペースである。住民のヒアリングを通してカフェや食料品・日用品を販売するマーケットなどに取り組んでいる。運営の仕組みがユニークで、コミュニティコーディネーターを置いたり、マーケットの商品は納入業者が経営し、法人は場所を貸しているだけである。

## ■施設情報

所在地：大阪府堺市南区茶山台 3-22-11

施設種別：地域密着型特別養護老人ホーム

運営主体：社会福祉法人よしみ会

建物構成：地上5階

構造規模：RC造

利用者数：特別養護老人ホーム 39名、

ショートステイ 10名

運営開始：2015年

スタッフ：ボランティア 20名ほど



写真2. 近隣センター全景：右の建物がグランドオーク百寿、1階が駐車場で、二階が主たる出入り口である。

## 1. 地地域ニーズの把握と地域交流事業

地域の人にまず来てもらう仕組みを作る必要があると考え、半年くらいかけて地域の方にヒアリングを行った。子どもたちからは、「最近、遊ぶ場所がない」、「宿題をできる場所が欲しい」、「ゲームをしても叱られないところが欲しい」などの声上がり、現在では子どもたちは自由に出入りしている。この近隣センターの中にあるが、スーパーマーケットがなくなり人の出入りが少なくなった。近隣センターの店舗からも、商売上、人の出入りは必要との声があった。その結果、カフェ、小さなマーケット、定期的イベントの開催を行うことにした。パソコンをフリーで使えるスペースもあります。この4点を柱として地域との交流事業として取り組むことにした。



写真3. カフェスペース：子どもたちがゲームをしたり、宿題をしたりしている。またマーケットには駄菓子も売っていて、子どもたちが自由に出入りしている。

## 参考文献

- 1) グランドオーク百寿 (<http://www.grand-oak.jp/>) 2021年7月13日参照



写真4. 2階出入り口付近の小さなマーケット



写真5. 夕刻、近隣センターで子どもたちが遊ぶ

## 2. 小さなマーケットについて

マーケットのレジ打ちは各回1～2名ずつ完全無償ボランティアが入っている。年齢は75歳を超えたくらいの方が多く、午前中の方には昼食、午後の方にはケーキとドリンクをサービスしている。

マーケットの運営は、基本的にグランドオークは場所を貸しているだけであり、別の業者が商品を納品し値段を決めている。売り上げはその業者がそのまま持ち帰る、グランドオークには一銭も入ってこない仕組みになっている。ボランティアさんの人件費がかからない分、グランドオークがボランティアさんに提供する飲食代を業者さんに負担してもらっている。

## 3. オークカフェについて

オークカフェは、グランドオークの直営で専従の職員がいる。開設3年限定の地域交流課の責任者O君は以前コーヒーチェーン店のS社で働いていたので、カフェ経営のノウハウを持っていることが強みになっている。出来るだけ本格的なものを低価格で提供しないと、一般の方には来ないのでカフェの商品のクオリティやコーヒー豆のひき方など、本格的なものを取り入れたいと思ってやってた。

## 4. コミュニティコーディネイターについて

最初オープンしてから3年間は、カフェ事業自体が定着するか不安があったので、専従のスタッフをおきO君の役割は、イベントやカフェメニューを形にして地域に発信する、さらに地域の声、お困りごとを拾ってくることでした。地域とこの施設とをつないで形にしていくということです。ほかにも、いろいろな企業から地域貢献や連携をしたいという声があるので、その窓口にもなってもらった。

経営的な視点でいうと、特養だけの運営の方が楽で、3年間カフェは赤字だったが、本体からの繰り入れで賄える程度の赤字でしたので、この赤字をどう見るかである。このカフェがあるから求人がきたり、視察に来て頂ける。そしてその情報がいろいろなところで発信されることになる。入居希望者も増え、待機が90人くらいになっていて、また採用効果もあった。









**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**

図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**  
図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**  
図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。



**図 or 写真○. タイトル**  
図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。図版には必要に応じてキャプションをつけてください。

